

淵野辺駅南口周辺まちづくり事業について

淵野辺駅南口周辺の公共施設集約・複合化による再整備に関する
サウンディング型市場調査 現地説明会

1. 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況
2. 淵野辺駅南口周辺のまちづくり 現状と課題
3. これまでの経過
4. まちづくりビジョンの概要



令和5年6月13日
相模原市



1. 淵野辺駅南口周辺の公共施設の状況

青少年学習センター

S44年整備・国有地を賃貸
最寄駅は矢部駅
年間利用者7.8万人
敷地面積4,506㎡



国際交流ラウンジ

民間施設を賃貸
年間利用者2.0万人
延床面積177㎡



野球場

ソフト、軟式専用
ナイターなし
年間利用者1.1万人
面積11,000㎡



テニスコート

4面 ナイターなし
年間利用者2.8万人
面積3,000㎡

自動車駐車場

67台 無料
面積1,700㎡



白鳥池

コブハクチョウ
カモ、カメ、
鯉など
面積5,700㎡



あさひ児童館

H25年整備・リース
年間利用者1.3万人
敷地面積378㎡



大野北公民館 大野北まちづくりセンター

S52年整備 3F
年間利用者
公民館11.6万人
まちセン8.9万件
敷地面積3,227㎡



自転車駐車場

S54・H2年整備 2F
年間利用者154.8万人
収容台数3,748台
敷地面積2,742㎡



図書館

S49年整備 2F
年間利用者54.6万人
蔵書約35万冊
敷地面積5,198㎡



児童交通公園

豆自動車、ゴーカート
自転車等を無料貸出
年間利用者7.8万人
面積15,000㎡
(有効面積9,000㎡)



※年間利用者数は平成29年度実績



● 読書室 (200席)
読書や学習に利用されています。
パソコンの電源が取れる席もあります。

● 社会人席 (8席)
調べものコーナーにある個別席で、調査研究等に利用されています。



● じゅうたんコーナー
子どもの本のコーナーにある、じゅうたん敷きのコーナーです。
絵本の書架に囲まれ、靴を脱いでゆっくりと読み聞かせ等を楽しめます。

● YAコーナー
10代に向けたコーナーです。ニーズに応じた本の配架や参加型の企画展示などを行っています。
※平成28年度に新設



昭和24年に最初の図書館を開館して以降、その整備充実を進め、市立図書館をはじめとした図書館と、公民館図書室等が一体となった図書館ネットワークを構築し、身近な情報拠点として、地域に根差したサービスの充実を図っています。

図書館に併設する視聴覚ライブラリーでは、視聴覚教材や機材の収集保管及び利用の促進、主催事業の実施、専門的な施設・設備の提供等を行っています。



● スタジオ、調整室、暗室等
照明・調光設備、オーディオミキサー、映像編集機器、現像設備等を備え、スタジオ収録や各種編集作業などが可能です。



大野北公民館

地域住民から構成された実行委員会等が主体となって様々な事業の企画、運営を行い、また、団体・サークルが自主的な学習活動等を行うことで交流や連携を深め、より充実した生活とより豊かな地域を作り出すことを目指しています。

大野北公民館は駅に至近である良好な立地環境から、市内で最も諸室の稼働率が高い公民館です。

自主企画提案事業の様子



高齢者学級の様子



子どもまつり・公民館まつりの様子



「活動コーナー」の様子





大野北まちづくりセンター

従前の出張所が行っていた届出の受付や各種証明書の交付を行う窓口サービス機能に加えて、地域活動団体を支援し、地域課題の解決や魅力ある地域づくりを区民と協働で進めるまちづくり支援機能を持つ組織として、平成22年の政令指定都市移行に併せて設置しました。



窓口スペース



団体事務室



青少年に交流と活動の場を提供すると共に、青少年団体の研修、交流、青少年団体指導者の養成及び青少年の出会いとコミュニケーションを目的とした各種の自主事業を実施し、青少年の健全な育成を図るための施設です。

ホール(約250人収容可能)



【活動中の様子】
大きなホールでは、主に学生が舞台やダンス、楽器の練習などを行っています

音楽室



ロビー





日本語教室

外国人市民と共に生きる住み良い環境づくりを進めるために、外国人市民への支援・多言語での情報提供のほか、国際交流などの事業をボランティアとの協働により行っています。



国際交流フェスティバル



世界のひろば



あさひ児童館

遊戯室

遊具などで仲良く遊んでいます。
特にソフトブロック（写真）や卓球が人気です。



図書室

マンガや児童書をはじめ、
DVDを見ることもできます



相模原市立児童館条例(昭和39年相模原市条例第52号)に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置しています。

施設内には遊戯室や図書室などがあります。

◆まち(地域全体)

(1) 人口

「大野北地区は市内3番目に人口(約6万人)が多い地区」
複数の大学のキャンパスがあり、新しいマンションも建設され
生産年齢人口(15~64歳)の比率が高い地区です。
将来的には少子高齢化、人口減少が推計されています。

(2) 土地利用

「商業地としての発展や良好な住環境の形成を目指している地域」
実際は住居系の土地利用が多く、
商業用地としての土地利用率は低い状況です。

(3) 駅利用者

「淵野辺駅は、市内で3番目に鉄道利用者が多い駅」
交通量が増える早朝は、歩行者と自転車が錯綜する状態のため、
安全で快適な通行環境が求められています。

◆鹿沼公園

整備から50年以上が経過し、施設の老朽化や、シンボルである白鳥池は土砂等の堆積・水質の汚濁が進行し、池としての魅力が減少しています。

また、樹木の巨木化及び老木化が進み、枝の落下や見通しの悪化などの課題が生じています。

さらに、自転車の通り抜けや公園利用者以外の駐車場の不適切利用なども課題となっています



◆公共施設

駅に近接していることもあり、どの施設もとても多くの方が利用しています。

催物ご案内				
部屋名	午前	午後	夜間	
3F	工作室	あやぽんて	おむの会 和紙展	ひなまつり
	中会議室	難工芸 陶藝展カーニ	読書会	観劇会
	和室		アソシエ	横浜国立大 言語学部
	小会議室1	アソシエ	コーラス	読書会
	小会議室2	ホリス	難工芸 陶藝展カーニ	読書会 読書の会
2F	料理実習室	あひもの会	花巻会	山本会
	茶室		アソシエ	あかり会
	保育室			
1F	大会議室	読書会	読書会	読書会
	コミュニティ室 (地域居場所館)			

築40年以上が経過しており、各施設の機能については、新たなニーズへの対応ができておらず、施設・設備等の不具合が断続的に発生しており、施設の改修・更新（建て替え）の時期を迎えています。



3. これまでの経過

平成20年5月

大野北地域 まちづくり提言

平成29年12月

淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画（案）公表

平成31年3月

市民検討会、有識者協議会 立ち上げ

～

第1回～第15回 市民検討会の開催

令和3年12月

〈施設や機能の配置の方向性〉
「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う。」

令和4年3月～8月

第16回～第22回 市民検討会の開催

9月9日・10日

オープンハウスの実施

9月～11月

第23回・第24回 市民検討会の開催

令和5年2月

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン
～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～（案）」を公表・パブリックコメント

オープンハウス型説明会・市民説明会の開催

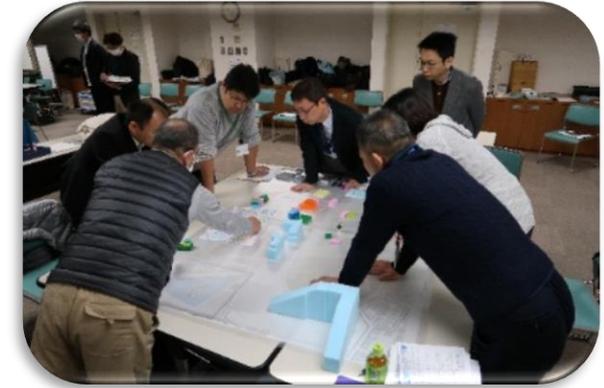
第25回市民検討会の開催（最終回）

令和5年3月

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン
～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～」を策定

◆市民検討会の様子

平成31年から約4年間に渡り
淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて、
市民の皆さんと様々な議論を重ねてきました。



令和5年3月には、これまで検討してきた結果を踏まえ、
「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン」を
策定しました。

本ビジョンは、淵野辺駅南口周辺における公共施設の再整備及び持続可能なまちづくりに向けた取組の方向性を示したものです。

主に、次の3点を策定に当たっての基本的な考え方としています。

（1）市民意見を踏まえたビジョン策定

淵野辺駅南口周辺のまちづくりについては、市民検討会等で様々な議論を積み重ねてきたほか、大野北地区まちづくり会議や図書館協議会、各施設の運営協議会等における検討状況の報告、オープンハウスやアンケート調査により頂いた多くの意見を反映しました。

（2）民間提案の活用

本ビジョン策定後、民間事業者との対話等を行い、より魅力的、効果的、効率的なアイデアについては、柔軟に取り入れながら、取組内容の具体化を図ります。

（3）将来にわたる市の財政負担の軽減

公共施設の再整備後に発生する跡地等（駅前市有地）について、売却や貸付け等の手法により活用することや、施設の整備・運営における民間活力の導入により、費用負担を極力少なくし、将来の財政負担の軽減を図ります。

まちづくりの基本方針

「テーマ」 人・活動・居場所がゆるやかにつながる 図書館と公園のある
ちよūdいまち 淵野辺

「コンセプト」



公園のようなまち
～Parkful～

⇒ 文化を継承し、自然を感じる
公園のような「まち」を目指します。



歩いて楽しめるまち
～Walkable～

⇒ 安全・安心で、健康的に歩いて
楽しめる「まち」を目指します。



住みやすいまち
～Livable～

⇒ やすらぎとにぎわいが共存する、
住みやすい「まち」を目指します。

まちづくりビジョンのイメージ図

【複合化対象施設】

以下の6施設を集約・複合化します。

- 図書館・視聴覚ライブラリー
- 大野北公民館
- 大野北まちづくりセンター
- 青少年学習センター
- あさひ児童館
- さがみはら国際交流ラウンジ

【コンセプト】

目的がある人もない人も、誰もが気軽に利用できる公園のような施設



【駅前市有地等】

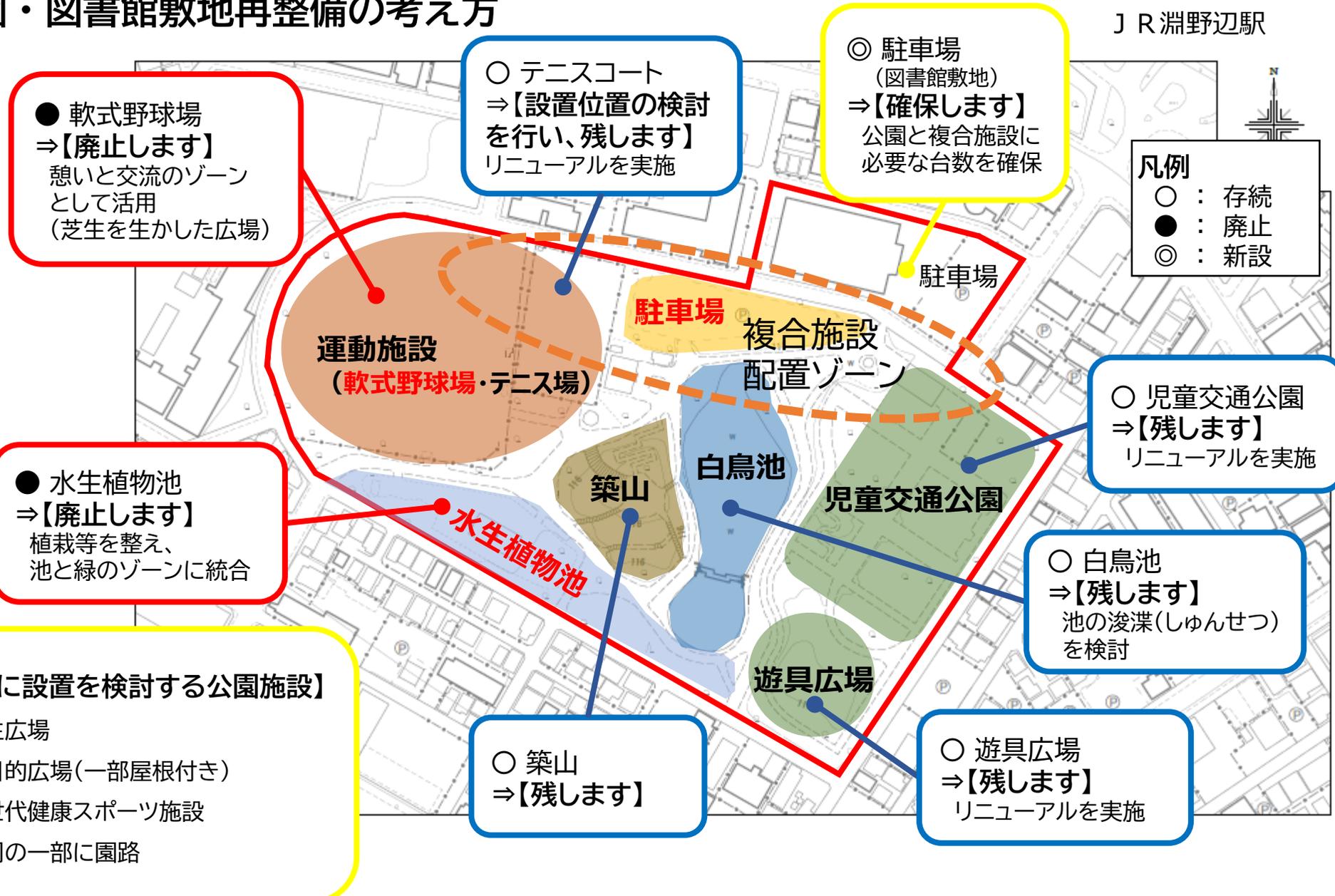
- 駅前での機能維持を前提に再整備（自転車駐車場）
- 自転車駐車場再整備での活用（まちセン・公民館等敷地）
- 売却・貸付け等による財源確保

【敷地の一体的な利用】

複合施設整備に伴う鹿沼公園への影響を抑えるため、鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用して再整備を行います。

鹿沼公園・図書館敷地再整備の考え方

J R 淵野辺駅



● 軟式野球場
⇒【廃止します】
憩いと交流のゾーン
として活用
(芝生を生かした広場)

○ テニスコート
⇒【設置位置の検討
を行い、残します】
リニューアルを実施

◎ 駐車場
(図書館敷地)
⇒【確保します】
公園と複合施設に
必要な台数を確保

凡例
○ : 存続
● : 廃止
◎ : 新設

● 水生植物池
⇒【廃止します】
植栽等を整え、
池と緑のゾーンに統合

駐車場
複合施設
配置ゾーン

○ 児童交通公園
⇒【残します】
リニューアルを実施

○ 白鳥池
⇒【残します】
池の浚渫(しゅんせつ)
を検討

【新たに設置を検討する公園施設】
◎ 芝生広場
◎ 多目的広場(一部屋根付き)
◎ 多世代健康スポーツ施設
◎ 外周の一部に園路

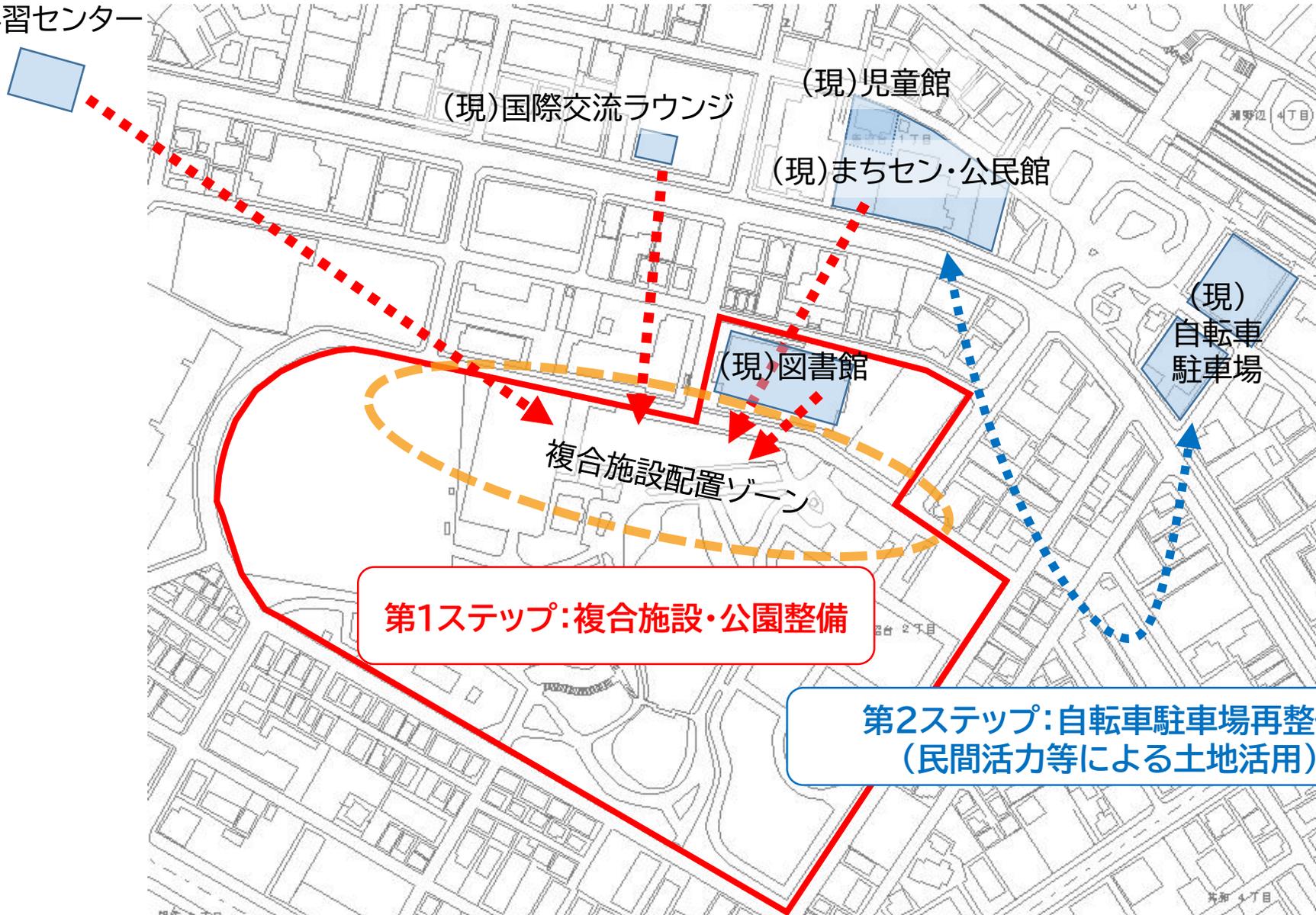
○ 築山
⇒【残します】

○ 遊具広場
⇒【残します】
リニューアルを実施

4. まちづくりビジョンの概要

事業の進め方（第1ステップ⇒第2ステップ）

(現)青少年学習センター



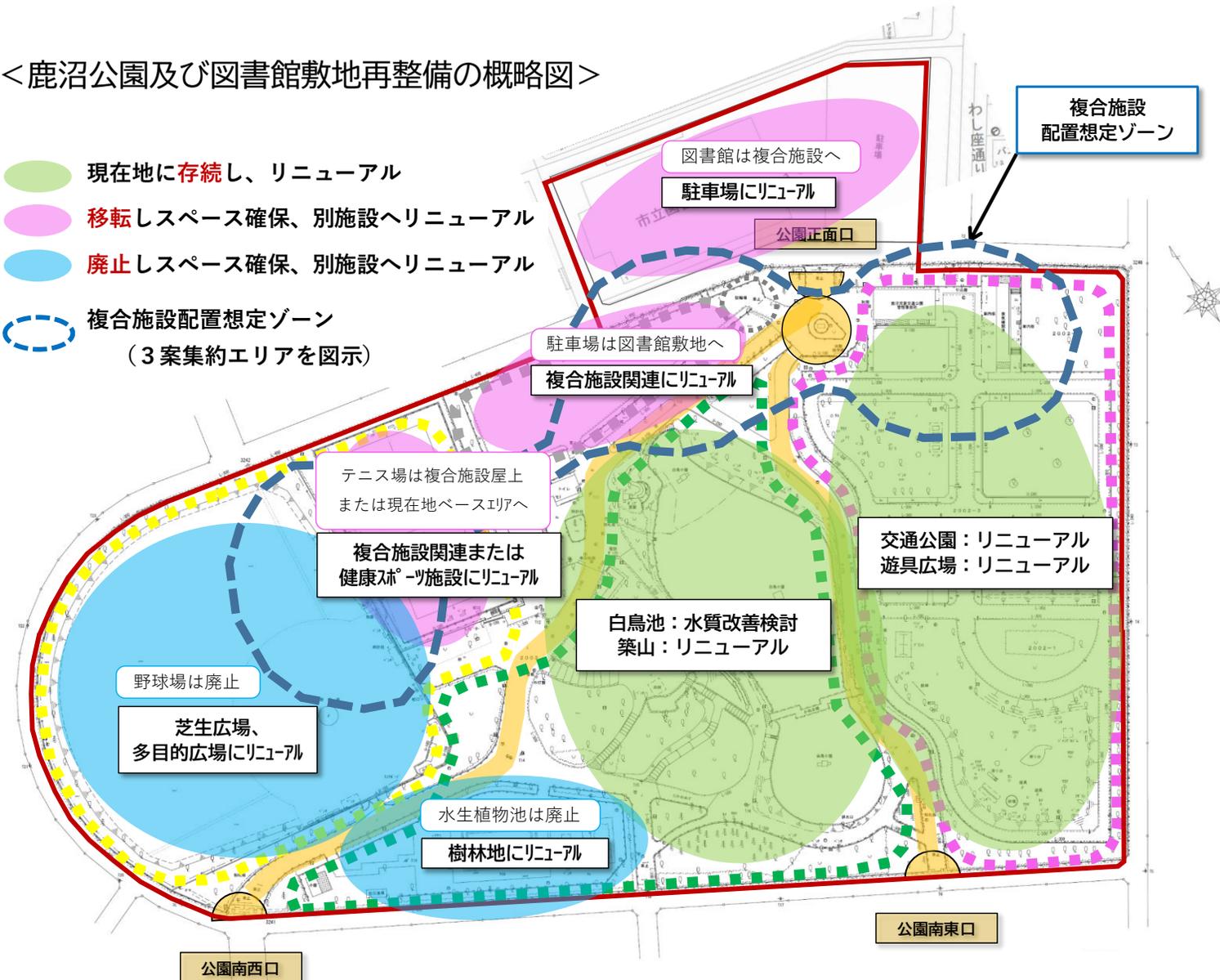
公園施設のリニューアルの方向性

リニューアルに当たり既存公園施設の方向性を具体的に示します。

方向性を定めるに当たっては公園の利用状況等を踏まえ、廃止や新設等を含め整理します。

<鹿沼公園及び図書館敷地再整備の概略図>

- 現在地に**継続**し、リニューアル
- **移転**しスペース確保、別施設へリニューアル
- **廃止**しスペース確保、別施設へリニューアル
- 複合施設配置想定ゾーン
(3案集約エリアを図示)



1 複合施設及び公園整備の想定事業費

現在個別に設置している公共施設を複合施設として再整備を行うことは、施設の機能向上及び利用者の利便性の向上につながるだけでなく、従来の個別施設の面積の合計よりも小さくなることから、施設の更新費や更新後の修繕費のほか、経常的な経費(光熱水費、清掃等の委託費等)の削減が見込まれます。

今後、民間活力導入可能性調査の結果等を踏まえ、複合施設の整備位置を絞り込んだ上で、より具体的な事業内容を基にしたコスト評価を行い、本事業の妥当性等を判断します(大規模事業評価)。

2 民間活力の導入検討

従来型の個別発注方式や、市の直営による施設運営でなく、PPP/PFI手法などによる民間活力の導入について、本ビジョンの策定後に実施する民間活力導入可能性調査で検討します。

今後のスケジュール

現時点で想定されるスケジュールは以下のとおりですが、施設整備や管理運営の手法、事業者の選定状況によって変更となる可能性があります。これまでの市民検討会の検討結果やパブリックコメント等
で出されたアイデア、意見等を参考にするとともに、本事業に関する情報を様々な機会を捉え積極的に
発信し、市民や民間事業者等と対話の機会をつくりながら本取組を進めていきます。

- | | |
|--------|-----------------------|
| 令和4年度 | まちづくりビジョン策定 |
| 令和5年度 | 民間活力導入可能性調査、大規模事業評価 |
| 令和6年度～ | まちづくりプラン策定、アドバイザー業務委託 |
| 令和8年度～ | 設計・工事 |
| 令和11年度 | 竣工、解体 |

今後整理・検討すべき事項

（１）事業全体に関わる事項（PPP/PFIの実施に向けた調整事項）

効率的かつ効果的な整備手法（民間活力導入可能性調査による効果を検証）

（２）まちづくりに関する事項

- ・ 自転車駐車場再整備手法等
- ・ 駅前市有地の活用方針等

（３）鹿沼公園及び公共施設に関する事項

- ・ 管理運営方針
- ・ 開館時間、利用料金
- ・ 諸室の在り方
- ・ 駐車場の規模、適正利用（有料化の検討）
- ・ 複合施設への移転の方法